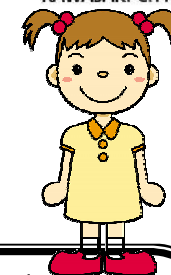


# 今、何の病気が流行しているか！

【感染症発生動向調査事業から】



KAWASAKI CITY



平成25年6月24日（月）～6月30日（日）〔平成25年第26週〕の感染症発生状況

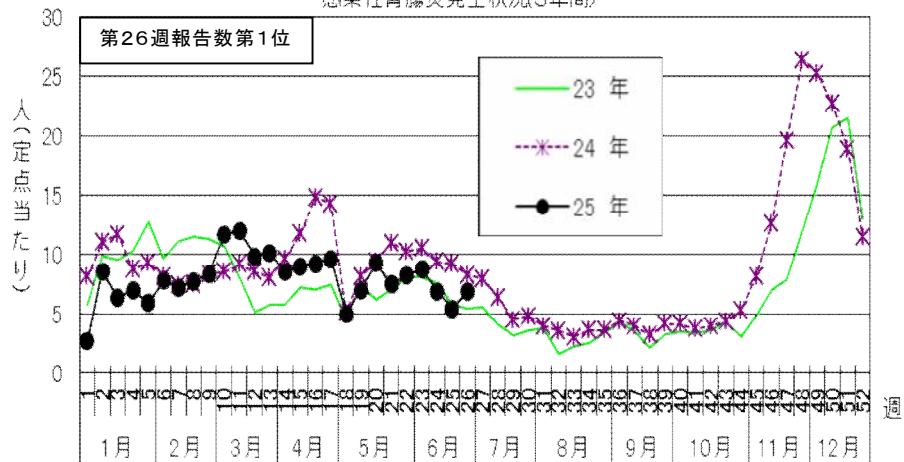
第26週で定点当たり報告数の多かった疾病は、1)感染性胃腸炎 2)手足口病 3)ヘルパンギーナ でした。

感染性胃腸炎は定点当たり6.82人と前週（5.45）より患者報告数は増加し、例年よりやや高いレベルで推移しています。

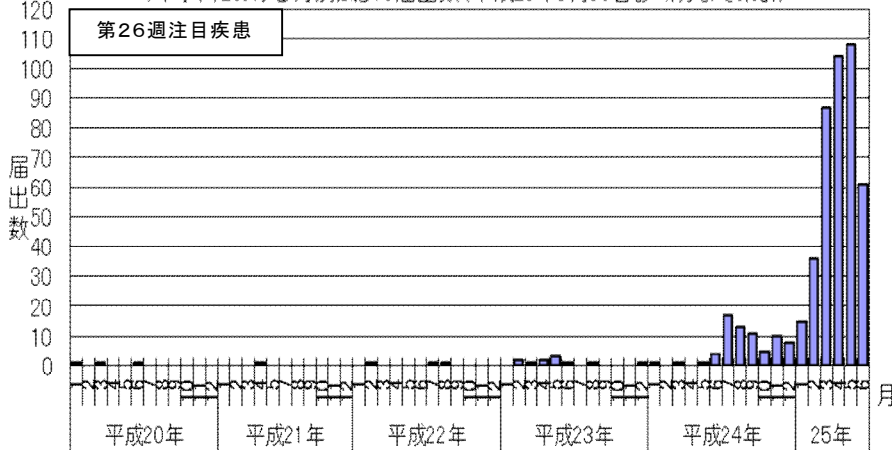
手足口病は定点当たり3.15人と前週（1.70）より患者報告数は大きく増加し、例年よりかなり高いレベルで推移しています。

風しんの届出が11件あり、前週より報告数は減少しています。現在、本市では、妊娠している女性の夫などを対象に、麻しん風しん混合ワクチン（MRワクチン）接種費用の一部助成を実施していますので、予防接種の検討をお願いします。

感染性胃腸炎発生状況(3年間)

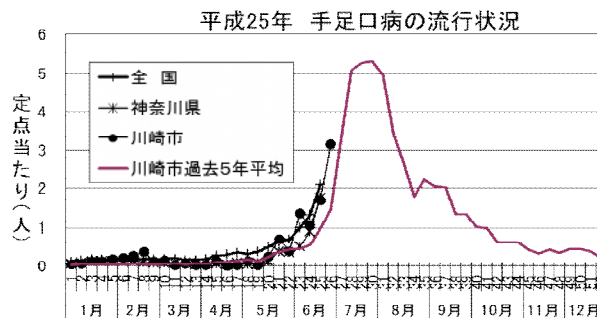


川崎市における月別風しん届出数(平成25年6月30日診断分まで集計)



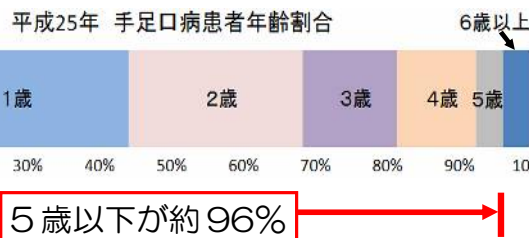
## いよいよ本格的な流行か！？～手足口病～

「手足口病」は、乳幼児を中心に例年夏期に流行するウイルス性疾患です。川崎市における患者報告数は、例年より早いペースで増加していますので、今後の本格的な流行に注意が必要です。



手足口病は例年7～8月に流行のピークをむかえます。今後患者が増えることが予測されますので、予防対策を徹底してください。

対策の基本は、しっかり手を洗うこと、排泄物を適切に処理すること、患者との接触を避けること、タオルなどの共有はやめることなどです。



患者は5歳以下の乳幼児がほとんどで、全体の約96%を占めています。保育園や幼稚園などは特に注意が必要です。

